

株式会社ノエビアホールディングス 2012年9月期第2四半期 決算説明会

(2011年10月1日～2012年3月31日)

2012年5月16日
株式会社ノエビアホールディングス
代表取締役社長 大倉 俊

株式会社ノエビアホールディングス

Noevir Holdings Co., Ltd.

◆設立 2011年3月22日（1964年 創業）

◆グループ事業領域

化粧品事業

医薬・食品事業

その他の事業

（連結子会社 国内6社・海外8社 計14社）

◆上場 東証二部（証券コード4928）

◆資本金 73億19百万円

◆従業員数 131名（連結 1,931名）

◆発行済み株式数 37,442千株（前期末 41,322千株）

※期中に3,880千株の自己株式の取得・消却を実施

◆時価総額 331億74百万円（2012年5月15日現在 @886円）

◆3月末 株主数 23,635名

当第2四半期業績ハイライト

- 主力の化粧品事業が増収。
- 医薬・食品事業、その他の事業は減収。
- 利益面では、中高価格帯化粧品の売上が堅調に推移し、ローコストオペレーションの徹底により増益となった。

	当第2四半期	当初業績 予想値* ₁	予想比	前年同時期 (2011/9期第2四半期) 2010/9/21~2011/3/20	前年 同時期比
売上高	23,222	24,600	△5.6%	24,493	△5.2%
化粧品事業	16,340	—	—	16,030	+1.9%
医薬・食品事業	6,291	—	—	7,404	△15.0%
その他の事業	590	—	—	1,059	△44.3%
営業利益	2,364	1,500	+57.7%	1,296	+82.4%
経常利益	2,496	1,600	+56.0%	1,438	+73.5%
税引前四半期純利益	2,545	—	—	959	+165.3%
四半期純利益	1,066	800	+33.4%	533	+100.1%
営業利益率	10.2%			5.3%	
経常利益率	10.7%			5.9%	
四半期純利益率	4.6%			2.2%	
1株当たり四半期純利益	27.68円			12.90円* ₂	

*1：2011年11月9日に公表した業績予想値。2012年4月26日に業績予想の修正を発表いたしました。 *2：2011年11月に実施した自己株式の取得・消却前の株式数の値。

P/Lのポイント

売上高	232億22百万円 予想比△13億77百万円 △5.6% 主に医薬・食品事業のドリンク類や航空関連事業が予想を下回ったことによる
売上原価率	35.0% 前年同時期比 0.2pt 改善 (前年同時期35.2%) 中高価格帯のカウンセリング化粧品の売上増加による
販管費	127億30百万円 予想比△12億69百万円 △9.1% 売上高販管費率54.8% ホールディングス体制移行による合理化、ローコストオペレーションの徹底による
営業利益	23億64百万円 予想比+8億64百万円 +57.7%
経常利益	24億96百万円 予想比+8億96百万円 +56.0%
特別利益	1億76百万円 固定資産売却益1億9百万円など
特別損失	1億26百万円 減損損失86百万円など
税引前四半期純利益	25億45百万円
四半期純利益	10億66百万円 予想比+2億66百万円 +33.4%

【売上高】 163億40百万円 前年同時期 160億30百万円
【セグメント利益】 30億00百万円 前年同時期 20億46百万円

売上構成比
70.4%

● カウンセリング化粧品が前年実績を上回る

- レッスン型サロン「ノエビア ビューティスタジオ」の展開を加速。顧客へのサービス活動を積極的に推進した結果、主力の中高価格帯基礎化粧品が堅調に推移。
- 新美容液「バイオサイン」シリーズが売上牽引。



バイオサインアイセラム

● セルフ化粧品は、主要ブランドの新商品が堅調に推移

- 「なめらか本舗」は美白シリーズのリニューアル発売により堅調。
- 「ノブ」ブランドは新商品効果と営業強化の取り組みにより堅調。
- 「毛穴パテ職人」 BBクリームが好調。



なめらか本舗 美白ライン

● 海外・OEM事業は堅調に推移

- 中国本土・香港でのセルフ化粧品売上が順調に拡大。
- OEM事業は前年をやや下回った。



ノブ ACアクティブシリーズ



毛穴パテ職人 BBクリーム

【売上高】 62億91百万円 前年同時期 74億04百万円
【セグメント利益】 1億73百万円 前年同時期 Δ 13百万円

売上構成比
27.1%

● 機能性ドリンクが前年を下回る

● 栄養補助食品は堅調に推移

- 話題の「レスベラトロール」をノエビアブランドで発売し売上牽引。
- 配置薬ルートで販売する美容ドリンク・栄養補助食品が堅調に推移。



● コスト削減により収益改善・黒字化

- 配置薬事業は主要取引先との連携強化により収益改善。



その他の事業の状況

【売上高】 5億90百万円 前年同時期10億59百万円
【セグメント利益】 35百万円 前年同時期 Δ 32百万円

売上構成比
2.5%

航空関連事業

- 航空関連事業は、欧州財政問題による需要停滞と円高の影響を受けた。

アパレル事業

- アパレル・ボディファッションは前年を下回った。

単位：百万円

	当第2四半期末 2012年3月31日	前年同時期末 2011年3月20日	増減
流動資産	57,149	60,099	△ 2,949
現金及び預金	35,725 ①	36,054	△ 328
受取手形及び売掛金	10,898	12,090	△ 1,191
たな卸資産	7,200	8,334	△ 1,134 ②
固定資産	24,279	26,742	△ 2,462
有形固定資産	20,269	21,458	△ 1,189
建物及び構築物	5,192	5,981	△ 789 ③
土地	13,763	13,973	△ 209 ④
無形固定資産	704	1,271	△ 566
ソフトウェア	611	1,158	△ 547
投資その他の資産	3,306	4,012	△ 706
投資有価証券	418	461	△ 42
繰延税金資産	1,919	2,366	△ 446
資産合計	81,429	86,841	△ 5,411
流動負債	10,519	11,562	△ 1,043
返品調整引当金	911	1,176	△ 264
固定負債	22,880	24,285	△ 1,405
長期預り保証金	17,811 ①	18,865	△ 1,053
負債合計	33,399	35,848	△ 2,449
株主資本	48,454	51,459	△ 3,004
資本金	7,319	7,319	-
資本剰余金	3,484	6,809	△ 3,324 ⑤
利益剰余金	37,651	37,351	299
純資産合計	48,029	50,992	△ 2,962 ⑥
負債及び純資産合計	81,429	86,841	△ 5,411

●B/Sのポイント

流動資産

- ①現預金残高 357億円
→長期預り保証金178億円を除くと179億円
- ②たな卸資産 △11億34百万円

固定資産

- ③建物及び構築物 △7億89百万円
- ④土地 △2億9百万円

負債及び純資産

- ⑤資本剰余金 △33億24百万円
→自己株式の取得・消却の影響*
- ⑥自己資本比率58.9%
(前年同時期末58.7%)

総論

- 潤沢な手元流動性預金
- 資産のスリム化
- 長短借入金ゼロ

【ご参考】*自己株式の取得・消却について

- 東証の自己株式立会外買付取引（T o S T N e T-3）を利用
- 2011年11月17日に、自己株式3,880千株（3,325百万円）を取得
- 11月28日に全株を消却
- 発行済み株式総数は、41,322千株から37,442千株に減少

設備投資・減価償却費／キャッシュ・フローの状況



●設備投資・減価償却

単位：百万円

	当第2四半期	前年同時期	増減
設備投資	110	361	△251
減価償却	880	854	25

▶ 生産設備への投資が少額となる

●キャッシュ・フロー

単位：百万円

	当第2四半期	前年同時期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	1,754	2	1,752
投資活動による キャッシュ・フロー	2,471	△ 1,316	3,788
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 4,810	△ 1,483	△3,327
現金及び現金同等物 の四半期末残高	35,692	33,529	2,162

▶ 定期預金の払戻による収入 2,524百万円

- ▶ 自己株式の取得による支出 3,325百万円
- ▶ 配当金の支払 1,485百万円

通期見通しと下半期の取り組み

2012年9月期 通期業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
昨年11月予想(A)	49,500	3,400	3,700	2,000	48.40
2012/4/26修正 (B)	49,500	4,300	4,600	2,000	51.89
増減額 (B - A)	0	900	900	0	—
増減率	0.0%	26.5%	24.3%	0.0%	—

- 売上高は、前回予想通りとなる見通しです。
- 営業利益、経常利益は、カウンセリング化粧品の売上増加及びローコストオペレーションの徹底による販管費の削減などにより、前回予想を上回る見通しです。
- 当期純利益は、上記増益要因はあるものの、税制改正により繰延税金資産取り崩しの影響で法人税等調整額が増加する可能性を鑑み、前回予想を据え置いております。

(注) 上記の予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素を含んでおりますので、実際の業績とは異なる可能性があります。

中期経営計画における今後の取り組みの方針

2014/9期までの
中期経営計画

テーマ

「日本を含むアジア市場で際立つ企業」に向けた成長戦略の布石

成長戦略
の方向性

化粧品事業	1. アジア市場への展開加速
	2. 日本市場における持続的利益創出
医薬・食品事業	事業再編の加速
日本・アジア市場における新規事業の立ち上げとM&A	

経営基盤
の強化

ローコストオペレーション

人材・組織のグローバル化

経営目標

売上高525億円、営業利益率10%、海外売上比率10%

	2011/9期*		2012/9期	2013/9期	2014/9期
	ノエビア	ノエビアHD			
売上高	24,493	24,581	49,500	51,000	52,500
営業利益	1,296	1,576	4,300	4,500	5,300
経常利益	1,438	1,652	4,600	4,800	5,600
当期純利益	533	614	2,000	2,600	3,100
営業利益率	5.3%	6.4%	8.7%	8.8%	10%

単位：百万円

*当社は2011年3月22日に㈱ノエビアからの株式移転により設立されたため、2011年9月期は、㈱ノエビア2011年9月期第2四半期（2010年9月21日～2011年3月20日）と、㈱ノエビアホールディングス2011年9月期（2011年3月22日～9月30日）を併記しております。

2012/9期
重点取り組み

- ① アジア市場におけるセルフ化粧品取扱店を拡大。
- ② レッスン型サロン「ノエビア ビューティスタジオ」の出店を1,000店に。
- ③ セルフ化粧品で主力ブランドのリニューアルを実施。
- ④ グループ全社でローコストオペレーションの取り組みを継続。

化粧品事業の主な取り組み

カウンセリング

- 販売代理店レッスン型サロン「ノエビア ビューティスタジオ」の展開は、今期末までの計画としていた1,000店を達成。今後は認定サロンへの営業支援を強化し、更なる顧客接点の拡大とサービス向上に注力。
- 猛暑・節電に対応する「冷感（クール）」「美白」の新商品を夏商戦に多数投入。



クールコラーゲンゲル



ブランマスク



ブランサイト

セルフ

- 「なめらか本舗」「エクセル」など主要ブランド中心に新商品投入とプロモーションを展開。



なめらか本舗

秋元康氏がプロデュースを手がけるアイドルグループ「JKT48」を起用した美白キャンペーンを展開



EXCEL エクセル

TOKYO RICH CASUAL by NOEVIR

誕生25年。ブランドリニューアルにより世界観強化



医薬・食品事業

- 今夏の商戦に向けて、眠眠打破シリーズの強カプロモーション展開を予定。



その他の事業

- 航空関連事業は北米市場に改善の兆しがあるが、景気動向を見極め引き続き慎重に対応。



【お問合せ先】 株式会社ノエビアホールディングス 経営企画部 広報・IRグループ TEL : 03-5568-0305 FAX : 03-5568-0441
E-mail : ir@n1.noevirholdings.co.jp WEB : <http://www.noevirholdings.co.jp>

この資料に記載内容のうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、将来の成果や業績などは、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。